



津市産業・スポーツセンターにて開催された標記大会に、三宅会長、福田副会長、葛原副会長と共に参加しました。岡山県からは31校、2団体計68人が参加しました。

大会初日は四日市商業高等学校ギターマンドリン部による素晴らしい演奏に引き続き、開会式・表彰式、その後、分科会が開催されました。開会式で武部文部科学副大臣が「家で保護者と勉強の話をする児童生徒の方が、勉強時間が長いことが「文科省調査」で分かった。保護者の家庭での子どもとの接し方がとても大切だ。」と話されたのが印象的でした。第2日目は、9時35分からの「高校生レストラン」で有名な相可高等学校食物調理科の紹介動画に引き続き、井村屋(株)代表取締役会長・中島伸子氏による「尊厳は明日の力」と題する記念講演がありました。「大学生のとき、北陸トンネル火災事故に遭い九死に一生を得た際、父親から、『「辛」に「一」を足せば「幸」になる。君だけの「プラス1」を探さない。』と言われた。」「どの人間にも必ず良い点がある。個人の独自性を大切に、360度の角度から見たら、考えたりすることが、人にも企業にも必要だ。」等のお話が印象的でした。

本大会には、校長職5年目で初めて参加しましたが、改めて、PTA活動の大切さについて、多くのことを学ぶ機会となりました。

☞ 校長 近藤

第1分科会「子育て、そして親育ち」

～言葉の力を磨き、こどもの心の声を聴こう～

子どもの人権について考えるとき、まず「子どもも一人の人間である」という当たり前のことを忘れてはいけなかったと思います。親や大人は、子どもを守り導く立場にありますが、それは子どもを従わせるのではなく、子どもが自分で考え、自分で育っていく力を支えることだと感じます。実際、子どもは話を聞いてもらうだけで、自分の考えや意思を持ち始めます。しかし現実には「どう考えているの? どうしたいの?」と問われる機会が少なく、不満や葛藤を心の中に溜め込んでしまうことが多いのではないのでしょうか。

また、社会や親が望む「いい子」であることは、時に子どもが自分の気持ちを抑え、自我を手放してしまうことにつながります。本当の成長は、大人と子どもが対等に意見を交わし、より良い方向を一緒に考える中で育まれるはずで、能力主義の中で「できない自分はダメ」と思い込んでしまえば、自己肯定感は下がり、自分を信じられない子どもが増えてしまいます。しかし、赤ちゃんの時から少しずつできることを増やしてきたように、子どもは存在そのものに価値があり、その価値を認められることで自分を愛せるようになるのです。

子どもが自分を愛し、信じられるようになれば、他者を思いやり、人間らしい関わりを持つことができます。愛とは人を成長させる力であり、子どもの権利は日常の中でその愛をどう受け止められるかに凝縮されているのだと思います。私たち大人は「先達」として、子どもが自分の道を切り開けるよう、耳を傾け、共に考える姿勢を大切にしたいと感じました。

☞ 会長 三宅

第2分科会「実力発揮のコツ」

～無名野球部2校を甲子園に導いた元監督が伝授!～

「甲子園出場は絶対に無理」と言われていた三重県立高校野球部2校を甲子園にまで導いた元教諭、松葉健司氏の講演に参加しました。

指導経験を元に、どうして結果や能力に格差が生まれるのか?と、疑問を抱き、生徒を観察し、対話し、共通項を探し、たどり着いた答えは『集中力』でした。集中力は本能であり、意識の方向をハッキリさせることで集中力が高まり、実力発揮、能力アップに繋がると語られました。特に実力発揮するには、「心」を育てることが大切であり、背中を見せてくれる大人、背中を押してくれる大人の存在が大切であるという言葉が印象に残りました。

本大会を通じて、子どもたちの自己実現に向けての教育の指導法について具体的なアプローチを学び、考えを深めることができました。

☞ 副会長 福田

第3分科会

「AI時代における

Well-Beingなキャリアデザイン」

～青春期における感情・感動体験の重要性～

國友 尚氏 (アソビジョン株式会社)

國友氏は講演会で、学力の高い日本の若者が、自立や社会への関心・熱意を見だしにくい現状を示し、知識だけでなく「心が動く体験」が大切だと述べられました。國友氏によれば、幼少期に夢中になった遊びや感動の体験が、その人らしいエネルギーの源になるそうです。何をするかよりも、どんな気持ちで取り組むかが重要だということです。

AI時代に求められるのは、子どもたちが自ら心を動かし、学ぶ力を育むことだと感じました。机に向かう勉強だけではなく、音楽、映像など多様な情報源に触れることで、子どもたちが自分の感情の変化に気づくことができるような学びを育みたいと考えています。PTAとして、感情に寄り添う体験の場づくりや、子どもの「やってみたい」を応援する活動を広げていきたいです。

☞ 副会長 葛原

